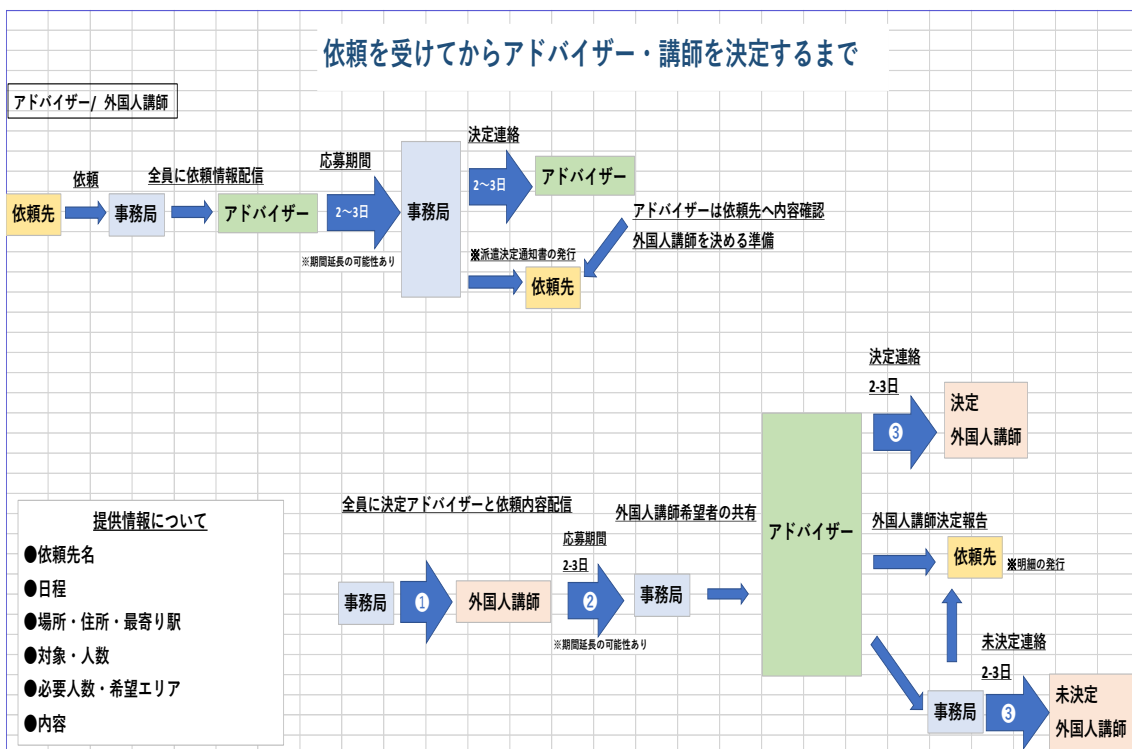


# 令和5年度 世界へのトビラ事業 オンラインミーティング開催報告

1. 日時 令和5年9月19日（火）14:00～15:00
2. 会場 オンラインで各所（Zoomを利用）
3. 参加者 10名（外国人講師 6名 / アドバイザー 4名）
4. 開催内容 自己紹介、事務局からのお知らせ、その他意見交換。

## 【本年度からのアドバイザー・講師決定までの流れ】



### (1) 【事務局からのお知らせ】

#### ◆新しい職員の紹介 あさい あんり 浅井 杏里より

8月から当協会の職員として入りました。今後「世界へのトビラ」を一緒に担当します。早速、9/21の小学校の見学に行かせていただきます。これからよろしくお願いいたします。

#### ◆石戸よりご報告

11月に出産を予定しております。そのため10月3週目から産休に入らせていただきます。しばらくお休みいただきご迷惑おかけしますがよろしくお願いいたします。

#### ◆今後の実施状況の共有

6月～9月までは毎月1件ずつの実施だった。10月は3件。11月が8件と依頼も増えてきている。現時点で申請が来ているのは16件。これからの依頼はさいたま市を中心とした中学校や高校の依頼が多くなるので、1件につき講師が5名以上必要な学校が増え

てくる予定。今年の年間実施件数はコロナ禍前の件数に戻りつつあるという印象。

●コロナの前はどのくらいの実施件数だったのか？

→コロナ直前は60件～70件の年間実施があった。今年は30件前後と予測。

●1校につき講師の派遣人数が10人近くなっても、アドバイザーは1人なのか？

→アドバイザーは1人で対応。連絡を取る人数は増えるが、少ない人数で行くときとやる事は変わらない。講師がやりやすい環境を整えるために事前の調整をする。当日は人数が多いと賑やかで楽しい。

## (2)【その他の意見交換】

◆アドバイザーから講師へメール連絡をするとき、どの程度「熟語」や「漢字」に配慮すべきなのかお聞きしたい。

●人によって違うので「内容がわからなかったら言ってね」と伝えておくのは必要。

●重要なことは簡単な「単語」と「数字」を使って、文章より項目で送るといいと思う。

●メールを送ったときに不安だなと思う場合は、直接電話をして一緒にメールを確認。

●「ルビ」があると助かる。あとは単語ごとに「スペース」をいれて読みやすくしてくれるとわかりやすい。平仮名ばかりだと、逆にわかりづらいときもある。

◆今年から講師の選定方法が変わったことについての質問

〈アドバイザーより〉

●アドバイザーとして申請書を見たときに、学校から国の希望が記入されている場合で、登録講師が少ない地域などが書かれている場合があるが、事務局はどのような対応をした上でアドバイザーにバトンタッチされているのか？

→学校からの申請書を事務局が受け取った時点で、登録講師の状況は必ず伝えている。もし登録講師が少ない、もしくは、講師がいないエリアの希望がある場合は、正直にご希望に添えない場合がある事を伝えて了承していただくところまでは対応済み。

●行きたいと手を挙げてくれた講師の一覧を事務局から共有してもらっているが、一覧の中であれば誰を選んでもいいということか？

→事務局から送っている希望講師の一覧は手を挙げてくれた講師全員。本部での選別はしていないが、多少今年度の活動状況などを踏まえて、色付けして共有はしている。最終的には、学校の意向を一番汲み取っているアドバイザーがバランスをみて、内容に沿って決めてもらえるようお願いしたい。

●希望講師一覧には先着順が示されているが、先着順の意味とは？

仕事の調整をして応募する方もいるはずなので期限内に申込みをした人は平等なのではないかと思う。

→例えば同じ地域の講師が何名かいる。学校からの要望に沿った授業を同じようにできる人が何人かいる。そのような迷った時の判断基準にしてもらえればいい。大切なのは学校の目的に合うように調整してもらおうことだと思っている。

●地域に偏りがないようにバランスよく講師派遣をお願いしたいという学校からの要望

について。授業が立て込んでくると、各地域に講師がいても予定を考えて手を挙げない人もいるのではないかと？そういった場合の事務局としての対応は？

→手を挙げてくれた講師の中で、近い日程で別の依頼の予定を直接講師に確認して、大丈夫だったらスライドしてもらったりしている。すでに依頼が立て込んできている中で、アドバイザーについても同じように内容をみて事務局で微調整をさせてもらっている。

#### 〈外国人講師より〉

●今までは電話をもらってその場で予定を決められていたけど、今は予定が確定するまでに時間がどうしてもかかるので、その間に他の予定が入ってくることもあるから、やりたくないわけではないのに、やりたいと返事をするまでに時間がかかってしまう。

→今までと方法が変わったので慣れるまでは、大変だしストレスに感じる部分もあるかもしれない。

やりたいと手を挙げて応募してから予定が確定するまで、だいたい5日～遅くても1週間くらいで結果を出すようにしている。

仕事をしていても、他の約束事でも1週間くらいは返事を待つことは日常生活でもある事だし、相手のある事だから仕方がないことでもある。

もし返事を待ってる間に、他の予定が入った場合は自分にとって優先順位が高いものを優先してもらっていい。毎回毎回では困るけど、自分の担当が決まる前なら手を挙げた後でも、やっぱり行けなくなると連絡してもらっても構わない。

ただし、手を挙げてくれないと活動できないから、まずは連絡をもらった時点で予定が空いていれば手を挙げてもらいたいと思う。

→事務局としても、皆さんの返事を待つことへのストレスには対応したいと思っている。今後講師の人数が10人近く必要な学校も出てくるので、たくさんの方が希望できるように調整のための期間は長くしたいところだけど、募集期間は今までと同じように3日くらいで短くして、まずはお返事をする。それでも希望人数に足りなければ再度募集をかけるという方法で進めていきたいと思う。併せて、必要であればこちらから直接講師の方に電話でお願いすることも含めて対応していきたいと思う。

#### ◆毎回自己PRを聞かれるが、同じ内容でもいいか？

→前の内容と同じでも大丈夫です。学校によっても内容は違うのでもしPRできることがあれば書いてほしい。

#### ◆依頼が11月に集中してしまうことへの対応について

→毎年どうしても同じ時期に集中してしまう。講師の負担を減らすためにも、依頼時期がバラバラだといい。可能であれば学校への調整をお願いしたい。

#### (3)【次回予定について】

10/12(木) 13:00-14:00 ZOOM ミーティング